

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法によっています。

時価のないもの……移動平均法に基づく原価法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
投資有価証券	29,645,575,119	12,022,638,048	32,083,196	41,636,129,971
小 計	29,655,575,119	12,022,638,048	32,083,196	41,646,129,971
特定資産				
助成事業予備基金	1,579,550,850	499,899,400	13,112,150	2,066,338,100
田口福寿会奨学金準備資金	0	194,400,000	0	194,400,000
田口育英金特別枠準備資金	120,000,000	72,000,000	48,000,000	144,000,000
小 計	1,699,550,850	766,299,400	61,112,150	2,404,738,100
合 計	31,355,125,969	12,788,937,448	93,195,346	44,050,868,071

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	—	—
投資有価証券	41,636,129,971	(41,635,966,177)	(163,794)	—
小 計	41,646,129,971	(41,645,966,177)	(163,794)	—
特定資産				
助成事業予備基金	2,066,338,100	—	(2,066,338,100)	—
田口福寿会奨学金準備資金	194,400,000	—	(194,400,000)	—
田口育英金特別枠準備資金	144,000,000	—	(144,000,000)	—
小 計	2,404,738,100	—	(2,404,738,100)	—
合 計	44,050,868,071	(41,645,966,177)	(2,404,901,894)	—

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金	684,729,611
基本財産受取利息	16,100
合 計	684,745,711

5. その他

金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託により資産運用します。

なお、デリバティブ取引は行わない方針です。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされています。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 財産管理運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の財産管理運用規程に基づき行います。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告します。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告します。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告します。